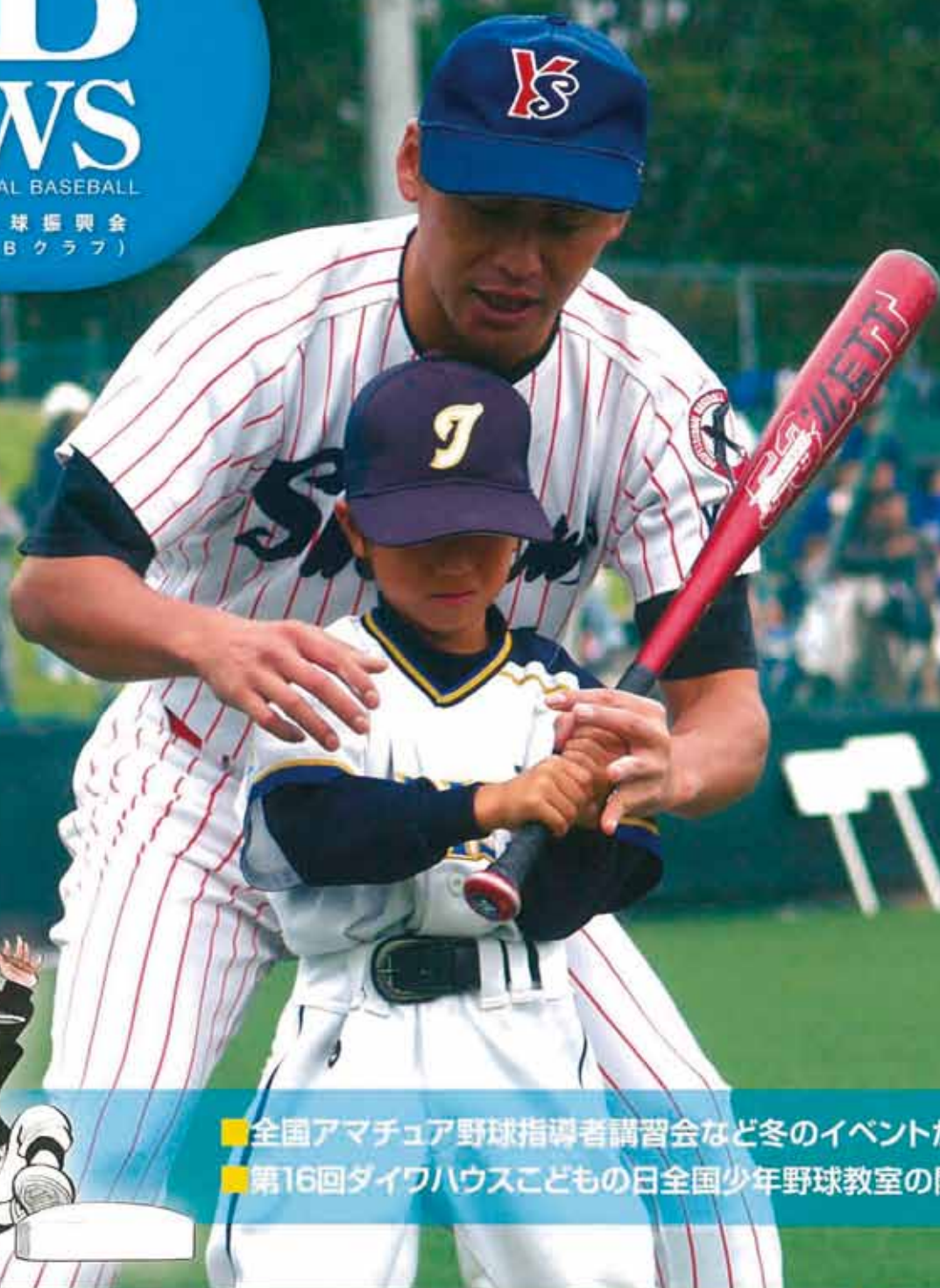


OB NEWS

JAPAN PROFESSIONAL BASEBALL

社団法人全国野球振興会
(日本プロ野球OBクラブ)

VOL. **45**
2010-Spring



- 全国アマチュア野球指導者講習会など冬のイベントが終了
- 第16回ダイワハウスこどもの日全国少年野球教室の開催迫る!



カード83枚入り(レギュラーカード82枚+直筆サインカード1枚) 1ボックスに1枚直筆サインカードが!
総勢77名の直筆サインカードを封入予定!シリアルナンバー入り メーカー希望小売価格 8,000円(税抜) 8,400円(税込)

限定発売

2010年3月27日発売

往年のスターたちがカードに集結!

日本プロ野球OBクラブ設立15周年記念

プロ野球OBクラブオフィシャルカードセット

AB=すべては野球のために 第2集



発行元: 株式会社プロ野球OBクラブ



日本プロ野球OBクラブ さらなる発展へ!!

「日本プロ野球OBクラブ」発足後、15周年の節目を迎えた昨年は、大沢啓二前理事長（現名誉会長）の後を継いで黒江透修理事が就任するなど、変革の年となりました。受け継がれる「日本野球界の底辺拡大」「技術力向上」「プロ・アマ交流の促進」という、当会のテーマ。このテーマのもと20、30周年と歴史を刻んでいきたいと考えております。これからも皆さまのご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

平成22年度 事業計画

1. 野球に関する指導者の養成

①全国アマチュア野球指導者講習会の開催

（支出：6,700千円）
※(社)日本野球機構補助金2,500千円充当
全日本アマチュア野球連盟に指導者登録されたプロ野球出身者を派遣し、全国8ブロックにおいて実技講習を行う。
実施会場：全国8会場
実施回数：8回
受講対象：アマチュア野球指導者
受講者数：1会場あたり約100名
派遣講師：1会場あたり4名

②野球指導者養成・認定制度整備事業の実施

（支出：1,500千円）
※(社)日本野球機構補助金500千円充当
プロ野球OBが有する高度な技術や考え方を、アマチュアの選手・指導者に伝授する際に求められる指導者としての「知識・能力の習得」及び「理論・表現の統一」をはかるための制度を整備する。
(1) 指導者養成制度および、認定制度の整備に取組む
(2) セミナーの開催
実施回数：8回（全国）
受講対象：プロ野球出身者（当会OB会員）
受講者数：1回あたり約50名（のべ約400名）
派遣講師：1回あたり2名

2. 野球に関する技術指導

①こどもの日全国少年野球教室の開催

（支出：16,020千円）
※(社)日本野球機構補助金3,000千円充当
5月5日のこどもの日にプロ野球出身者を指導者として47都道府県48会場に約360人を派遣し、約1万1,000人のこどもたちを指導。将来を担うこどもたちに野球の魅力や楽しさを伝えるとともに、心のふれあいができる場を提供することにより、底辺拡大、スポーツの普及・振興及び青少年の健全育成に寄与することを目的とする。
開催日：2010年5月5日（水・祝）
会場：47都道府県48会場（東京都のみ2会場）
参加者数：約11,000人
派遣講師数：約360人

②中学校軟式野球強化事業

（支出：2,000千円）
※(社)日本野球機構補助金2,000千円充当
(財)日本中学校体育連盟加盟の軟式野球部を対象に、当会会員による「実技指導」を実施する。アマチュア選手のさらなる技術の向上には、高い専門性を持った指導者が指導に当たることが望まれる。そこで、トップレベルの技術と経験を有する

プロ野球OBが、一定レベル以上の技術を備えたアマチュア選手とその指導者に対し、高度な技術を還元することで、アマチュア野球の技術力向上を促進する。
開催日：2010年10月～2011年3月
会場：全国9会場

③各種少年野球教室の開催

（支出：5,650千円）
行政、団体、企業等からの依頼により、各種野球教室や指導者講習会、審判講習会等の講師としてOB会員を派遣。
(1) 一般野球教室（委託元：行政、団体、企業等）
派遣講師人数：28名
(2) トップアスリート派遣指導事業（委託元：財団法人日本体育協会）派遣講師人数：31名
④東京ベースボールスクール
（支出：720千円）
高校進学後も真剣に野球に取り組もうと考えている中学校3年生を対象とした、プロ野球OBによる3～4カ月間の集中型技術指導スクールへの運営協力および講師派遣。
開催日：2010年11月～2011年1月
会場：神宮室内練習場
派遣講師数：10名
受講者数：30名

3. プロ・アマ交流に資する各種行事の開催

(1) 全国アマチュア野球指導者講習会 ※1～①参照
(2) 中学校軟式野球強化事業 ※2～②参照

4. 全日本野球会議その他野球に関する団体との連携協力

（支出：1,270千円）
全日本野球会議内の指導者講習会等の講師としてOB会員を派遣
①野球指導者講習会（BCC）
主催：全日本野球会議
実施回数：1回
派遣講師：10名

5. 日本高等学校野球連盟関連事業の開催

（支出：5,580千円）
※(社)日本野球機構補助金2,000千円充当
各都道府県高等学校野球連盟が主催する現役高校野球部員に対する技術指導へのOB会員派遣
①元プロ野球選手技術指導講習会
主催：各都道府県高等学校野球連盟
実施回数：0回
派遣講師：1会場あたり4名

6. 会報その他出版物の発行

①会報誌「OB NEWS」の発行（支出：2,320千円）
※管理費の通信費と印刷費として計上
②ホームページの管理・運営（支出：507千円）
※管理費の広告宣伝費として計上



③調査研究（支出：500千円）

※管理費の広告宣伝費として計上
(社)日本野球機構、(社)日本プロ野球選手会と共同でキャリアサポートマガジン「NEW BALL 2011」を発行する。

7. その他目的達成のために必要な事業

①講演会への講師派遣（支出：4,780千円）
行政、団体、企業等からの依頼により、講演会の講師としてプロ野球出身者（OB会員）を派遣。
主催：行政、団体、企業等
内容：講師により異なる
派遣人数：10名

②OBオールスターゲームの運営協力（支出：10,410千円）
地方公共団体、企業、広告代理店が企画、主催を行う、OBオールスターゲームに当会会員を派遣するとともに、少年野球教室、各種講習会（指導者、審判等）を実施。
③肖像権使用事業の運営（支出：350千円）
テレビゲームソフト、メモリアルビデオ、雑誌、新聞広告等への当会商標及び当会OB会員の肖像権貸与への対応事業。

④野球振興普及事業（支出：18,460千円）
各種社会福祉施設等の訪問や各種学校からの依頼による進路指導学習への講師派遣（夢・未来応援プロジェクト「ブルペン」）および各アマチュア野球連盟等の視察や協賛・後援・野球大会等を行う。また、賛助会員、関係者、野球ファンに対して交流の機会を提供し、野球の普及振興に努める。

⑤スポーツフェアへの運営協力（支出：53,330千円）
(財)自治総合センターからの依頼により、プロ野球出身者（当会OB会員）および事務局職員を派遣し、運営に協力する。
主催：(財)自治総合センター、各地方自治体
協力：(社)全国野球振興会、日本プロ野球各球会
内容：「指導者クリニック」「少年少女野球教室」「ドリームゲーム」
実施会場：全国15会場
派遣人数：1会場あたり16名

⑥広告宣伝（支出：250千円）
当会活動への支援企業（オフィシャルスポンサー）からの年間協賛費。
株式会社オニザキコーポレーション…5,250,000円
大和ハウス工業株式会社…10,500,000円

⑦物品販売（支出：0千円）
公認クラブおよびオリジナルグッズの販売ほか。

⑧第4回全国ベースボールトーナメント（支出：76,050千円）
株式会社マルハンの特別協賛のもと、全国の軟式野球愛好家（社会人）を対象に、軟式野球の全国大会を開催する。47都道府県において県大会を実施、全国8地区にて地区代表を決定し、8チームによる全国大会を開催。

平成22年度収支予算書総括表（平成22年1月1日～平成22年12月31日まで）

項目	合計	一般会計	収益事業会計	非収益事業会計
1. 基本財産増減	20,000	20,000	0	0
2. 多額収入	11,000,000	11,000,000	0	0
3. 事業収入	17,580,000	17,580,000	0	0
4. 経常収入	288,330,000	288,330,000	0	0
5. 寄付金収入	10,000,000	10,000,000	0	0
6. 雑収入	10,000,000	10,000,000	0	0
7. 雑収入	0	0	0	0
8. 雑収入	0	0	0	0
9. 雑収入	0	0	0	0
10. 雑収入	0	0	0	0
11. 雑収入	0	0	0	0
12. 雑収入	0	0	0	0
13. 雑収入	0	0	0	0
14. 雑収入	0	0	0	0
15. 雑収入	0	0	0	0
16. 雑収入	0	0	0	0
17. 雑収入	0	0	0	0
18. 雑収入	0	0	0	0
19. 雑収入	0	0	0	0
20. 雑収入	0	0	0	0
21. 雑収入	0	0	0	0
22. 雑収入	0	0	0	0
23. 雑収入	0	0	0	0
24. 雑収入	0	0	0	0
25. 雑収入	0	0	0	0
26. 雑収入	0	0	0	0
27. 雑収入	0	0	0	0
28. 雑収入	0	0	0	0
29. 雑収入	0	0	0	0
30. 雑収入	0	0	0	0
31. 雑収入	0	0	0	0
32. 雑収入	0	0	0	0
33. 雑収入	0	0	0	0
34. 雑収入	0	0	0	0
35. 雑収入	0	0	0	0
36. 雑収入	0	0	0	0
37. 雑収入	0	0	0	0
38. 雑収入	0	0	0	0
39. 雑収入	0	0	0	0
40. 雑収入	0	0	0	0
41. 雑収入	0	0	0	0
42. 雑収入	0	0	0	0
43. 雑収入	0	0	0	0
44. 雑収入	0	0	0	0
45. 雑収入	0	0	0	0
46. 雑収入	0	0	0	0
47. 雑収入	0	0	0	0
48. 雑収入	0	0	0	0
49. 雑収入	0	0	0	0
50. 雑収入	0	0	0	0
51. 雑収入	0	0	0	0
52. 雑収入	0	0	0	0
53. 雑収入	0	0	0	0
54. 雑収入	0	0	0	0
55. 雑収入	0	0	0	0
56. 雑収入	0	0	0	0
57. 雑収入	0	0	0	0
58. 雑収入	0	0	0	0
59. 雑収入	0	0	0	0
60. 雑収入	0	0	0	0
61. 雑収入	0	0	0	0
62. 雑収入	0	0	0	0
63. 雑収入	0	0	0	0
64. 雑収入	0	0	0	0
65. 雑収入	0	0	0	0
66. 雑収入	0	0	0	0
67. 雑収入	0	0	0	0
68. 雑収入	0	0	0	0
69. 雑収入	0	0	0	0
70. 雑収入	0	0	0	0
71. 雑収入	0	0	0	0
72. 雑収入	0	0	0	0
73. 雑収入	0	0	0	0
74. 雑収入	0	0	0	0
75. 雑収入	0	0	0	0
76. 雑収入	0	0	0	0
77. 雑収入	0	0	0	0
78. 雑収入	0	0	0	0
79. 雑収入	0	0	0	0
80. 雑収入	0	0	0	0
81. 雑収入	0	0	0	0
82. 雑収入	0	0	0	0
83. 雑収入	0	0	0	0
84. 雑収入	0	0	0	0
85. 雑収入	0	0	0	0
86. 雑収入	0	0	0	0
87. 雑収入	0	0	0	0
88. 雑収入	0	0	0	0
89. 雑収入	0	0	0	0
90. 雑収入	0	0	0	0
91. 雑収入	0	0	0	0
92. 雑収入	0	0	0	0
93. 雑収入	0	0	0	0
94. 雑収入	0	0	0	0
95. 雑収入	0	0	0	0
96. 雑収入	0	0	0	0
97. 雑収入	0	0	0	0
98. 雑収入	0	0	0	0
99. 雑収入	0	0	0	0
100. 雑収入	0	0	0	0

●2010年5月5日（水・祝）
「第16回ダイワハウスこどもの日全国少年野球教室」開催地一覧
全国47都道府県48会場にこどもたちが野球に向き合います！
スタンド等での見学が可能ですのでお気軽にご来場ください。

都道府県・開催地	開催会場名
北海道	松前町民野球場
青森県	つがる克雪ドーム
岩手県	金ヶ崎町森山総合公園野球場
秋田県	五城目町釜船運動公園広場
宮城県	大崎市三本木野球場
山形県	寒河江市野球場
福島県	いわきグリーン球場
茨城県	ひたちなか市民球場
栃木県	岩舟町健康福祉センター
群馬県	沼田市運動公園野球場
埼玉県	大原公園野球場
東京都(東)	外堀公園運動場
東京都(西)	町田市民球場
千葉県	流山市総合運動公園野球場
神奈川県	茅ヶ崎市公園野球場
山梨県	山梨市民小原スポーツ広場
長野県	軽井沢町総合運動場
新潟県	HARD-OFF-ECOスタジアム
静岡県	沼津市宮野球場
愛知県	瑞穂公園野球場
岐阜県	中津川公園野球場
三重県	津球場公園内野球場
富山県	城南スタジアム
石川県	こまつドーム
福井県	勝山事務所総合グラウンド
滋賀県	甲良町少年野球場
京都府	南丹市園部公園スポーツ広場
奈良県	奈良市平城2号球技場
和歌山県	上富田スポーツセンター
大阪府	豊中市立第十四中学校
兵庫県	明石海浜公園臨時野球場(西)
鳥取県	倉吉市営開金野球場
島根県	あらえっさスタジアム(安来市運動公園野球場)
岡山県	JFE岡山グラウンド
広島県	佐伯総合スポーツ公園野球場
山口県	山口市スポーツの森(西京スタジアム)
香川県	長尾総合公園野球場
徳島県	鳴門オロナミンC球場
高知県	四万十町立四万十町野球場
愛媛県	鬼北総合公園
福岡県	小竹町民球場
佐賀県	唐津市野球場
長崎県	諫早市野球場
熊本県	田辺公園運動施設
大分県	別府市民球場
宮崎県	宮原運動公園野球場
鹿児島県	鹿児島県宮球場
沖縄県	名護球場

※参加児童の公募は行っていません
※天候等により開催地が変更になる場合がございます(3月16日現在)
詳細は当会ホームページおよび新聞各紙等に発表予定です

平成22年度 スポーツフェア ドリームベースボール開催地一覧

開催地	開催日程	会場名
千葉県袖ヶ浦市	6月19日(土)～20日(日)	袖ヶ浦市総合運動場野球場
愛媛県宇和島市	6月26日(土)～27日(日)	丸山公園野球場
岩手県遠野市	7月3日(土)～4日(日)	遠野市運動公園野球場
福島県富岡町	7月24日(土)～25日(日)	町営球場
茨城県日立市	8月7日(土)～8日(日)	日立市民運動公園野球場
北海道北見市	9月4日(土)～5日(日)	北見市営球場
福岡県糸島市	9月18日(土)～19日(日)	歴史の里ゆり田野球場
山梨県富士吉田市	9月25日(土)～26日(日)	富士北麓公園野球場
宮城県南三陸町	10月2日(土)～3日(日)	平成の森しおかぜ球場
三重県熊野市	10月16日(土)～17日(日)	くまのスタジアム
群馬県太田市	10月23日(土)～24日(日)	太田市運動公園野球場
岡山県高梁市	10月30日(土)～31日(日)	神原スポーツ公園野球場
福岡県北九州市	11月13日(土)～14日(日)	北九州市民球場
鹿児島県伊佐市	11月20日(土)～21日(日)	伊佐市営球場
広島県三次市	11月27日(土)～28日(日)	三次きんさいスタジアム

※観戦をご希望の方は、各開催地にお問い合わせください
開催地および近隣の都道府県にお住まいの賛助・OB会員の皆さまには、事前にご案内いたします
※開催日程、開催地は予定であり変更になる場合がございます(3月16日現在)

第4回 マルハンドリームカップ
全国ベースボールトーナメント開催決定!

MARUHAN DREAM CUP

本年も株式会社マルハン様の特別協賛をいただき、全国ベースボールトーナメントを開催いたします。
昨年の王者「塩尻銘球野球クラブ」に続き、今年は何のチームが日本一に輝くのか。皆さまのご参加をお待ちしております!

■公式サイト: www.dreamcup.jp

OBクラブにとって、一年で最も事業が集中する“冬”。プロ野球界はシーズンに向けての準備期間となる季節ですが、当会は3月までに全国アマチュア野球指導者講習会、元プロ野球選手技術指導講習会、中学校軟式野球強化事業など、特にアマチュア野球と交流するイベントを全国で開催しました。

また1月22～24日、幕張メッセで行われた全日本野球会議指導者講習会（全日本野球会議技術指導委員会主催）に、

OBクラブは本年も協力。実技指導では初参加となる権藤博氏、中塚政幸氏、若菜嘉晴氏、高橋雅裕氏を含めたOB会員12名を講師として派遣。講習終了後も受講者からの質問に対応するなど、講師の熱心な姿がありました。

そんな講師の活躍ぶり、大会の活動、黒江透理事長の選抜高等学校野球大会訪問をご報告させていただきます。

第11回 全国アマチュア野球指導者講習会

第11回を迎えた全国アマチュア野球指導者講習会は、3月7日の旭川大学室内練習場（北海道）で無事に終了しました。

関東地区は2月14日、横浜ベイスターズの横須賀室内練習場が会場。普段、プロ野球選手が使用している恵まれた会場に38名の受講者が集まり、森徹副理事長も開校式に出席し、講習会がスタート。

投手部門を担当した齊藤明夫講師は、小・中学生の指導者に対して、いかに正しいフォームで相手の胸に投げられるかを強調していました。子どもは無理に速くに投げようとすると、体勢が後ろに反れてしまい、フォームが崩れてしまう。「短い距離でも正しいフォームで投げた方がい



い。その基礎があれば高校になって効果が出る。

市川和正講師は捕手部門の講習始めに「キャッチャーで一番大事なことは？」と受講者たちに質問。本人がプロ野球界に入った際、先輩に聞かれた質問で、その答えは「捕ること」。ランナー三塁、ボールを後逸すればサヨナラ負け。「キャッチャーは常にそういうイメージで」と。

打撃部門は中塚政幸講師が担当。「人から何か言われるより、人のバッティングを見た方がいい」と、ただ教えるのではなく、本人に「見て盗ませる」指導方法を勧めていました。

自分が子どもたちに教えるとき、わかりやすい指導を心掛けているという宮藤賢治講師。捕球するときは「風呂敷でボールを包み込むように」など、子どもたちが成長しても忘れない表現で指導する大事さをレクチャーしていました。

それぞれの講師に講習終了後、質問する受講者がおり、限られた時間でしたが講師、受講者ともに、有意義な時間を過ごせたようでした。



選抜大会、黒江理事長が表敬訪問

3月21日、出場32校が参加し、阪神甲子園球場で行われた「第82回選抜高等学校野球大会開会式」に、黒江理事長が奥島孝康氏（財団法人日本高等学校野球連盟会長）を表敬訪問。

さらに始球式を務めた川端達夫氏（文部科学大臣）には、大会の現状報告などを行いました。



元プロ野球選手技術指導講習会

プロ野球経験者が高校球児に直接指導する、元プロ野球選手技術指導講習会は2005年にスタートし、今回で5度目を迎えました。

開催地の各県高等学校野球連盟が主催し、当会は財団法人日本高等学校野球連盟、社団法人日本野球機構とともに協力。5県9会場に25名のOB会員を講師として派遣しました。

“プロ・アマの壁”を乗り越えようと、将来の野球界を担う高校生のために、今できることをする。当会、そして各野球団体、個人の皆さまも、その考えは一緒のはずです。

今後もこの講習会を通して、プロ経験者の「教えたい」、高校生の「教わりたい」気持ちをカタチにしていきたいと考えております。

元プロ野球選手技術指導講習会

日程	会場	講師
11月7日(土)	浜山球場(兵庫県出石市)	石橋 真 鈴木 伸良 南岡 晴高 福間 剛
11月14日(土)	明石球場(兵庫県明石市)	牛島 和彦 大石 清 河村健一郎 和田 徹
11月15日(日)	大田市北公園野球場(岐阜県大垣市) スカイマークスタジアムサブ(兵庫県神戸市)	古賀 正明 辻 恭彦 堀場 秀幸 村上 雅則 辻 恭彦 堀場 秀幸 山本 和行 渡辺 弘基
11月21日(土)	尼崎記念公園(兵庫県尼崎市)	池谷公二郎 河村健一郎 古賀 正明 鈴木 伸良 大石 清 岡田 忠雄 内藤 尚行 古永幸一郎
11月23日(月・祝)	姫路球場(兵庫県姫路市)	紀藤 真琴 千田 哲介 辻 恭彦 中塚 政幸
12月6日(日)	水戸市民球場(茨城県水戸市)	日野 茂 平野 謙 堀場 秀幸 松沼 博久
12月19日(土)	茨城キリスト教学園高校(茨城県日立市)	河村健一郎 紀藤 真琴 辻 恭彦 若生 龍男
2010年 2月13日(土)～14日(日)	クリネックススタジアム屋外練習場(宮城県仙台市)	

特別連載 野球体育博物館 第4回 初期の野球カード

日本でも人気の高い野球カードですが、1880年代後半の米国で、紙巻タバコのパッケージに入れる補強用厚紙に様々なイラストや写真を印刷した「おまけカード」の一つとして、野球選手のカードもつくられるようになり広まったといわれています。

野球体育博物館にはそんな初期の野球カードが3点あります。いずれも今から120年以上前の1887年に「オールドジャッジ」というタバコについていた「おまけカード」です。大きさはタテ約6.5cm、ヨコ約3.6cmで、選手の写真が名前、ポジション、所属チームとともに印刷されています。写真左は、ネッド・ハンロン中堅手、後にドジャースなどで監督としても活躍しました。中央は、マーク・ボールドウィン投手、大リーグで通算154勝しています。右は、ボブ・カールサーズ投手、通算で218勝していますが、外野手も兼ねていました。

初期の野球カードとしても、また、ユニホームなど当時の様子がよくわかる資料としてもとても貴重なものです。



野球体育博物館に保存されている初期の野球カード

中学校軟式野球強化事業

昨年まで「アマチュア野球選手・指導者強化育成事業」として行われてきましたが、今年度は中学生に特化することで「中学校軟式野球強化事業」と名称を変更し、さらなる“野球を通じた青少年の健全育成”を目指します。

2月11日、山口市立鴻南中学校の会場では、基 満男講師が「失敗しても失望する必要はない。次がある。そういう気持ちを持ってドンドンやろう!」と、技術面だけでなく、精神面についても生徒たちに熱弁をふるっていました。

また同14日、厚沢部町総合体育館（北海道檜山郡厚沢部町）には、フェリーを利用し、わざわざ奥尻島から参加の中学校もありました。このように期待に応えるとともに、次回開催に繋げていく義務が当会にあると認識しております。



メモを手に大矢明彦講師の話に聞き入る受講生

会報誌限定OBクラブプレミアムカード

当会設立15周年を記念して作成された「プロ野球OBクラブオフィシャルカードセット」と当会会報誌「OB NEWS」の限定コラボが実現。会報誌限定プレミアムカードをお届けします。

～「OBクラブオフィシャルカードセット」とは～





Daiwa House®

大和ハウスグループ

共に創る。共に生きる。

大和ハウスグループは、
グループシンボル「ENDLESS HEART」に
お客様と私たちの永遠の絆と
私たちグループの連帯感を託しました。
人・街・暮らしの価値共創グループとして、
私たちは社会に新しい価値を築いてまいります。

大和ハウス工業株式会社
www.daiwahouse.co.jp